

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 30, No. 3 神奈川県立生命の星・地球博物館 Sept. 2024



## ロンドン自然史博物館 来館者を出迎える シロナガスクジラ *Balaenoptera musculus* (Linnaeus, 1958)

2023年5月2日撮影

まつもと りょうこ  
松本 涼子 (学芸員)

2023年4月から1年間、ロンドン大学で研究活動を行いました。その間、調査でロンドン自然史博物館を訪れました。ホールの高い天井から雌のシロナガスクジラが来館者を見下ろしています。この博物館が一般公開されたのは1881年のことです。当時のホールには展示物がなく、閑散かんさんとしていました。1890年代になるとマッコウクジラの骨格が中央を飾り、1907年にアフリカゾウの剥製はくせい、1979年には竜脚類恐竜のディプロドクスりゅうきょうるい (愛称: ディッピー) へと代替わりしていきました。当初ディッピーは尾を地面に垂らした姿

でしたが、1990年代に最新の研究に基づき、尾を持ち上げた姿勢に組み替えられました。そして、2017年に4代目センターを獲得したのが冒頭のシロナガスクジラ (愛称: ホープ) です。しかし新参者ではありません。1891年にアイルランドで座礁し、標本として博物館にやってきた長老的な存在です。近年の研究から座礁当時のホープは15歳で、その1年前に出産していた可能性が示唆されました。標本の収集から130年の時を経ても新たな発見があるのが博物館の面白さです。